

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

△一般▽豆の上で眠る(湊かなえ)▽猯の檻(道尾秀介)▽まいない節(残屋佐吉御用帖(山本一力)▽銀色の絆(零井脩介)▽警視庁強行係り・樋口顯「廉恥」(今野敏)▽その青の、その先の(椰月美智子)▽越境捜査「逆流」(笹本稜平)▽無縁旅人(香納諒一)▽ちいさな異邦人(連城三紀彦)▽かくて老兵は消えゆく(佐藤愛子)▽天佑なり(△上・下▽(幸田真音)▽天の光(葉室麟)▽青玉の笛(澤田ふじ子)▽馳星周(帰らずの海)△児童書▽▽坂本廣子のつる

■みずうみ読書の家

△一般▽▽笹の舟で海をわたる(角田光代)▽捜査組曲・チャンミーグウ(今野敏)▽緋の天空(葉室麟)▽かたづけ(中島京子)▽マスカレード・イブ(東野圭吾)▽神の子 上・下(葉丸岳)▽荒神(宮部みゆき)▽中国の大問題(丹波宇一郎)▽最後

う!食べよう!行事食(3巻)(坂本廣子)①正月から桃の節句②花見からお盆③月見から大みそか▽▽こども哲学」シリーズ

△全7巻▽(オスカー・フルニ

ファイエ/訳四宮かおり)▽だれ

が決めるの?社会の不思議(橋爪大三郎)▽ゆきのうえ、ゆきのした(ケイト・メスナー・クリ

ストファー・サイラス・ニール)

はひとり(下重暁子)▽お順

上・下(諸田玲子)▽低地(ジューン

パ・ラヒリ)▽それは秘密の(乃南アサ)▽逢坂の六人(周防柳

▽女子の人間関係(水島広子)▽Nのために(湊かなえ)▽望郷

(森瑤子)▽老人と子供の考古学(山田康弘)▽少女パレアナ(ユナリ・ポーター)▽日本の湖沼



今月の1冊



池上彰の君なら
どう考える、
地球の危機
(全4巻)

監修池上彰
著者アンソニー・リシャック
訳 吉井知代子

それぞれ、違った立場の人たちの話を集めて、何が問題なのか?自分とどう関わるのか?

問題点、答えを自分で導きだしてゆく本です。親子、先輩、友達などといっしょに読んで考えてみましょう。



●開館時間

午前10時より午後4時20分まで

●11月休館日

13日・20日・24日・27日・12月4日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家 ☎76・2100
みずうみ読書の家 ☎75・4702

わたしのうた

短歌

【あぶた短歌会】

十月定例会

これと言ふこともなければせめて
このさ庭の草花に心寄せゆく
山木 孝

ながらうもうれしき座にありて
秋の酸素にまかせしいのち
大西 芳子

菜園の大根ひきておでん煮る
秋風寒き夕餉の膳に
北島 加代

行く末も共に健やかに過すため
まず知をみがき美を求めたし
太田 智

草紅葉川の中州に照り映えて
水面に黒き鮭帰りにぬ
元田 フジ子

俳句

【あぶた俳句会】

十月定例会

草ロール香り秘そかに出番まつ
草の香や傘寿の頬のうすき紅
那須 伶子

秋灯のととのふ運河背に撮す
渡り鳥群れに有珠山空模様
菅原 敏子

草の香の薄れて夫の忌近かし
草の香は牧場の恋のお仲人
矢野 知子

目覚めれば一条の陽の早も秋
小笠原 勇
千葉 征子
三瓶 修
佐藤 美風

